

提 案 書 作 成 上 の 注 意

1. 次ページ以降の記入要領に従い、提案書を作成して下さい。
2. 特に、本課題では、毎年度自己点検を実施するため、各年度において達成すべき目標（マイルストーン）を明記するとともに、実用化・事業化を見据えた研究開発を推進する必要があるため、中間段階（研究の第三年次途中）で出口を見据えた成果が提示できるよう研究開発計画を作成して下さい。
3. 提案書の下、中央にページ番号を入れて下さい。

SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）

〔レジリエントな防災・減災機能の強化〕

研究開発課題提案書

1.研究開発課題名	(30 字以内)	
2.研究責任者 氏名		
3.所属機関・部署・役職		
4.研究者番号	(e-Rad へ研究者情報を登録した際に付与される 8 桁の研究者番号を記載して下さい。)	
5.研究開発課題 要旨	「研究開発構想」(SIP - 様式 1) の (1) ～ (8) の項目ごとに、要点をまとめて下さい。文字数は、全体で 1,000 文字以内とします。	
6.研究開発項目※1 (いずれか 1 つを 選択)	① 津波予測技術の研究開発 ② 豪雨・竜巻予測技術の研究開発 ③ 大規模実証実験等に基づく液状化対策技術の研究開発 ④ ICT を活用した情報共有システムの研究開発及び災害対応機関における利活用技術の研究開発 ⑤ 災害情報収集システム及びリアルタイム被害推定システムの研究開発 ⑥ 災害情報の配信技術の研究開発 ⑦ 地域連携による地域災害対応アプリケーション技術の研究開発 (中核機関として提案する場合※2 →)	
7.研究開発期間※3	H26 年度研究開始～H* * 年度	
8.研究開発費規模※4 (間接経費含む)	千円 (千円未満は四捨五入して下さい)	千円 (千円未満は四捨五入して下さい)

- ※1：研究開発項目は、①～⑦の中から1つ選択して下さい。
- ※2：⑦で中核機関として提案をする場合は、空欄に○印をつけて下さい。
- ※3：研究開発期間は提案時における当面の研究開発目標達成までの期間です。最長はH30年度（5年間）までです。
- ※4：左欄に初年度の研究費を、右欄に研究開発期間における研究開発費総額を記載して下さい。どちらも間接経費を含む額になります。初年度の研究費の上限は、公募要領P.31に記載してある額までとし、研究開発費総額の上限は公募要領P.31に記載してある額の5倍までとします。
- ※5：項目1.～8.はそのままe-Rad申請時に、ブラウザ上で入力していただきます。詳細は公募要領P.88をご覧ください。

1. 研究開発構想

(作成に当たっての注意)

- ・ 評価者が理解しやすいように記述して下さい。そのため、必要に応じて図や表も用いて下さい。
- ・ 様式1の(1)～(9)について、A4用紙で **10 ページ以内 (厳守)** にまとめて下さい。
- ・ 枚数によらずe-Radへアップロードできるファイルの最大容量は10MBですので、ご注意下さい。
- ・ 青地斜体の文言は注釈になります。提出時は削除して下さい。

(1) 社会背景と研究開発の目的

内閣府が作成した SIP「レジリエントな防災・減災機能の強化」研究開発計画を踏まえ、当該分野に関連する現在の社会の状況（ニーズ等）を分析し、提案する研究開発によってどのようなイノベーションが occu r、社会に還元できるか、記載してください。

(2) 研究開発項目と目標

SIP「レジリエントな防災・減災機能の強化」研究開発計画を踏まえ、研究期間中に取り組むべき研究開発課題とその内容、研究終了時に達成しようとする目標について具体的に記載してください。

(3) 研究開発計画の進め方

設定した各研究開発項目の実施にあたり、研究開発期間における具体的な体制（研究開発実施組織、運営委員会の設置・活用の考え方等を含む）、進め方（手段・プロセス：毎年度、特に三年度途中までに達成すべき目標（マイルストーン）、成果の明確化を含む）について記載してください。また開発を推進するにあたり、予想される問題点とその解決策を記載して下さい。

(4) 研究開発実施の基盤

本研究構想を実施するにあたって基盤となるこれまでの研究開発、今までに実施したプロジェクト等の内容と成果、その他の予備的な知見やデータ等（存在する場合）について具体的に記述してください。

(5) 国内外の類似研究との比較、および研究の独創性・新規性

関連分野の国内外の研究の現状と動向を踏まえて、この研究構想の世界の中での位置づけ、独創性、新規性や優位性を示してください。

(6) 出口戦略・取組

本研究開発構想によって得られた成果を社会実装するにあたり、現在想定している出口戦略及び他の研究開発項目との連携等について具体的に記載してください。

(7) 府省を超えて情報を伝達し共有するための仕組み

- ・内閣府総合情報システム、国の防災対応機関が保有する災害情報システム、自治体の災害情報システムなどとの情報提供・共有法
- ・地域社会の防災力の継続的な向上努力を確保するための基点である、地域災害連携研究センター群等の育成・活用法
- ・リアルタイムな災害情報を駆使した災害対応力の強化に繋がる技術の地方自治体や企業への展開

等、各府省や地方自治体との連携や横断的取り組みについて、具体的に記載して下さい。

(8) 本研究開発で構築される研究開発体制、装置、ノウハウ等の持続性や活用についての構想

本研究開発によって得られる、研究開発体制、装置、ノウハウは、研究終了後も持続的に活用されることが期待されています。研究開発終了後の活用、持続的発展等に向けた取組等に関する構想を記載して下さい。

(9) 研究開発課題のスケジュール

※研究開発課題の主なスケジュールを記載してください。項目は内容に従って適宜設定してください。

(記入例)

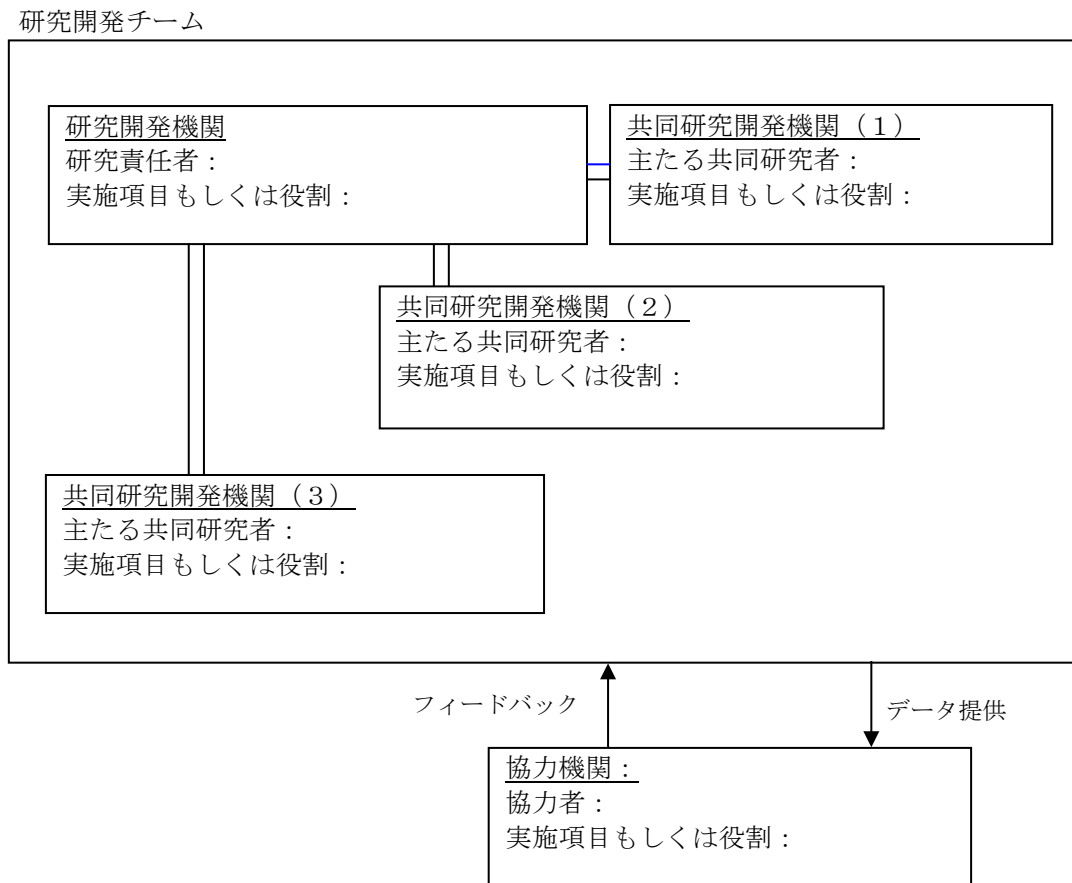
項目	初年度 (H26.8～ H27.3)	2年度 (H27.4～ H28.3)	3年度 (H28.4～ H29.3)	4年度 (H29.4～ H30.3)	最終年度 (H30.4～ H31.3)
○○特性の解析	←→				
○○モデルの構築	←→				
データの取得・解析		←→	←→		
法制度的検討		←→			
○○手法の開発		←→			
実験の実施		←→			
評価実施と効果検証			←→		

2-1. 研究開発実施体制（1）

（実施体制の構成図）

- ※ 研究開発課題の実施体制については、採択後に見直しをお願いすることがあります。
- ※ 研究開発課題の構成が簡単に分かるように、研究開発の項目を単位として図示してください。研究開発チーム外の協力者がいる場合には、協力者との関係も記載してください。
- ※ 研究開発代表者が属する機関を研究開発機関とし、それ以外の機関を共同研究開発機関として下さい。
- ※ 各機関の分担する研究開発の項目のほか、それぞれの機関で責任者として中心的な役割を果たす方の氏名を記載してください。
- ※ チーム全体の責任者として中心的な役割を果たす方の氏名を赤字にて記載してください。

<例>



2-2. 研究開発実施体制 (2)

(研究開発機関の実施体制)

- 研究責任者が所属する研究機関における研究開発参加者を記入して下さい。
- 研究責任者と同じ所属機関の研究開発参加者が、研究開発機関の研究実施項目及び概要とは明確に異なる内容で参加する場合は、共同研究開発機関として記入しても結構です。

研究開発機関

(記入例)

研究機関名	〇〇大学大学院			
担当	氏名	所属部署・役職	専門	エフォート (研究責任者のみ)
研究責任者	〇〇 〇〇	＊＊研究科・教授		〇〇%
＊＊の開発に従事	〇〇 〇〇	＊＊研究科・准教授		—
＊＊の開発に従事	〇〇 〇〇	＊＊研究科・助教		—

- エフォートには、研究者の年間の全仕事時間（研究活動の時間のみならず教育・医療活動等を含む）を 100%とした場合、そのうち当該研究の実施に必要となる時間の配分率（%）を記入して下さい。（P. 108 もご参照ください）
- 研究開発機関の構成メンバーについては、その果たす役割等について十分検討して下さい。
- 研究開発参加者のうち、提案時に氏名が確定していない研究員等の場合は、「研究員 〇名」といった記述でも結構です。
- 研究開発参加者の行は、必要に応じて追加して下さい。

○ 特記事項

- 特別の任務等（研究科長等の管理職、学会長など）に仕事時間（エフォート）を要する場合には、その事情・理由を記入して下さい。

○ 研究題目及び概要

- 研究題目
- 研究開発概要

研究開発機関が担当する研究の概要を簡潔に記載して下さい。

- 研究開発構想における位置づけ

研究構想を実現するために研究責任者が果たす役割等を記載して下さい。

2-3. 研究開発実施体制 (3)

(共同研究開発機関の実施体制)

- 研究責任者の所属機関以外の研究機関（共同研究開発機関）の研究者が加わる場合、その研究開発参加者を研究機関ごとに記入して下さい。
- 産学官からの様々な研究機関を共同研究開発機関とすることが可能です。
- 共同研究開発機関の数に上限はありませんが、研究開発構想の遂行に最適に必要な研究開発チームを編成して下さい。研究責任者が担う役割が中心的でない、共同研究開発機関の役割・位置づけが不明である研究開発チームの編成は、研究開発実施体制としては不適切です。
- 研究開発チームとして研究開発機関以外の共同研究開発機関を加えることは、必須ではありません。

共同研究開発機関 (1)

(記入例)

研究機関名	(独) ◇◇研究所 (所属研究機関コード ¹⁾)			
担当	氏名	所属部署・役職	専門	エフォート (主たる共同研究者のみ)
主たる共同研究者	○○ ○○ (研究者番号 ²⁾)	**G 主任研究員		○○%
* * の開発に従事	○○ ○○	研究員		—
* * の開発に従事	○○ ○○ ³⁾	研究員		—

- 主たる共同研究者は、所属先の e-Rad 所属研究機関コードを記載して下さい。
- 主たる共同研究者は、科学研究費補助金研究者番号がある方はその番号、ない方は e-Rad へ研究者情報を登録した際に付与される 8 桁の研究者番号を記載して下さい。
- 研究開発参加者の行は、必要に応じて追加・削除して下さい。

○ 研究題目及び概要

- 研究題目
- 研究開発概要

〔 本共同研究開発機関が担当する研究開発の概要を簡潔に記載して下さい。 〕

- 研究開発構想における位置づけ・必要性

〔 研究開発構想を実現するために本共同研究開発機関が必要不可欠であることの理由、位置づけ（研究責任者及び研究開発機関との役割等の関係を含む）等を記載して下さい。 〕

(前ページより続く)

共同研究開発機関 (2)

(記入例)

研究機関名	(独) ◇◇研究所 (所属研究機関コード ¹⁾)			
担当	氏名	所属部署・役職	専門	エフォート (主たる共同研究者のみ)
主たる共同研究者	○○ ○○ (研究者番号 ²⁾)	**G 主任研究員		○○%
* * の開発 に従事	○○ ○○	研究員		—
* * の開発 に従事	○○ ○○ ³⁾	研究員		—

- 1) 主たる共同研究者は、所属先の e-Rad 所属研究機関コードを記載して下さい。
- 2) 主たる共同研究者は、科学研究費補助金研究者番号がある方はその番号、ない方は e-Rad へ研究者情報を登録した際に付与される 8 桁の研究者番号を記載して下さい。
- 3) 研究開発参加者の行は、必要に応じて追加・削除して下さい。

○ 研究題目及び概要

- ・ 研究題目
- ・ 研究開発概要

本共同研究機関が担当する研究開発の概要を簡潔に記載して下さい。

- ・ 研究開発構想における位置づけ・必要性

研究開発構想を実現するために本共同研究機関が必要不可欠であることの理由、位置づけ（研究責任者及び研究開発機関との役割等の関係を含む）等を記載して下さい。

○ 研究開発進捗による研究開発実施体制変更について

研究開発が順調に進捗し、開始当初は参画の必要がないが、進捗につれて新規な共同研究開発機関等が必要になると予想される場合に、増強分野・サブテーマ・時期等について記入して下さい。（候補者の名前を記入する必要はありません）。

2－4．研究開発実施体制 （4）

（研究開発チームとの協同体制）

研究開発チームへの協力者

※ 実施者は実際に研究開発を行う人であり、協力者とは異なります。研究開発の実施者との間での、これまでの協力関係の有無を記載してください。

（記入例）

氏名 所属 役職 （または組織名）	本研究開発への協力内容	これまでの 協力関係の有無
〇〇 〇〇 △△大学 △△学部 教授	〇〇に関する助言、協力	有
〇〇 〇〇 △△会社 △△部長	データ提供	無

○ 実施者と協力者の協働の具体的な方法

実施者間、及び実施者と協力者、それぞれが協働する具体的な方法について記載してください。

○ 実施者と協力者の関係

※ 実施者と協力者との間にこれまでに協力関係があった場合には、どのような協力関係があったかを、協力者ごとに記載してください。

※ また、現時点での協力者との関係はどのようになっているか、協力者ごとに具体的に記載してください。

3. 研究開発費計画

- ・ 当初の研究開発期間における研究開発チーム全体の年次計画概要、費目別の研究開発費計画と研究開発グループ別の研究開発費計画を年度ごとに記入して下さい。
- ・ 面接選考の対象となった際には、さらに詳細な研究開発費計画を提出いただきます。
- ・ 採択された後の研究開発費は、SIP 全体の予算状況、PD 等によるマネジメント、中間評価の状況等に応じ、研究開発期間の途中に見直されることがあります。
- ・ 研究開発実施体制は、研究構想を実現するために必要十分で最適な編成を提案して下さい。支援グループを編成する場合、その必要性や予算配分の妥当性、コストパフォーマンス等も重要な選考の観点となります。

(記入例)

○ 実施項目別の研究開発費計画（線表）（研究開発課題全体）

- ・ 実施項目ごとに、実施機関が分かるように記載してください。また、線表の下に経費見込額（間接経費を含む）を記載してください。

[単位：千円]

	初年度 (H26.8～ H27.3)	2年度 (H27.4～ H28.3)	3年度 (H28.4～ H29.3)	4年度 (H29.4～ H30.3)	5年度 (H30.4～ H31.3)	合計
(1)・・・に関する研究開発	・・・の準備(〇〇大学) ←→ 〇〇千円					
①・・・に関する試験			・・・の試験(××研究所) ←→ 〇〇千円		とりまとめ(〇〇大学) ←→ 〇〇千円	
②・・・に関する設計						
(2)・・・に関する研究開発						
・						
・						
合計						

(前ページより続く)

(記入例)

○ 費目別の研究開発費計画 (研究開発課題全体)

[単位：千円]

	初年度 (H26.8～ H27.3)	2年度 (H27.4～ H28.3)	3年度 (H28.4～ H29.3)	4年度 (H29.4～ H30.3)	5年度 (H30.4～ H31.3)	合計
I 設備費 ¹⁾						
II 材料・消耗品費 ²⁾						
III 旅費 ³⁾						
IV 人件費・諸謝金 ⁴⁾ (研究員等の数)						
V その他 ⁵⁾						
直接経費(I - V) 小計						
間接経費(○%)						
合計						

○ 特記事項

研究開発費の費目と、その用途は以下の通りです。

- 1) 設備費：設備を購入するための経費
- 2) 材料・消耗品費：材料・消耗品を購入するための経費
- 3) 旅費：研究責任者や研究開発参加者、共同研究者の旅費
- 4) 人件費・諸謝金：研究員・技術員・研究補助者等の人件費、諸謝金
(研究員等の数)：研究開発費で人件費を措置する予定の研究員、技術員、
研究補助者の人数
- 5) その他：上記以外の経費（研究成果発表費用、機器リース費、運搬費等）

(前ページより続く)

○ 機関別の研究開発費計画

- ・ 研究構想を実現する上で適切な研究開発費計画であり、研究開発のコストパフォーマンスが考慮されていることや、共同研究開発機関への予算配分の妥当性も重要な選考の観点となります。なお、研究開発費には間接経費を含みます。

(記入例)

[単位：千円]

研究機関名	初年度 (H26.9～ H27.3)	2年度 (H27.4～ H28.3)	3年度 (H28.4～ H29.3)	4年度 (H29.4～ H30.3)	5年度 (H30.4～ H31.3)	合計
研究開発機関						
共同研究開発 機関（１）						
共同研究開発 機関（２）						
合計						

○ 活用予定の主要設備（機器名、設置場所）

(記入例) ○○○○○○ ○○大学
 ○○○○○○ ○○大学
 ○○○○○○ ○○大学
 ○○○○○○ ○○研究機構
 ○○○○○○ ○○大学（基盤ネットワーク拠点整備装置）

○ 購入予定の主要設備（1件5,000千円以上、機器名、概算価格）

(記入例) ○○○○○○ ○○○千円
 ○○○○○○ ○○○千円
 ○○○○○○ ○○○千円
 ○○○○○○ ○○○千円
 ○○○○○○ ○○○千円
 ○○○○○○ ○○○千円

4. 論文・著書リスト（研究責任者）

○ 主要文献

著者・発表論文名・掲載誌・巻号・ページ・発表年

近年に学術誌等に発表した論文、著書等のうち今回の提案に関連すると思われる重要なものを選んで、A4 用紙 1 ページ程度で現在から順に発表年次を過去に遡って記入して下さい。記載項目は上記の通りであり、書式は任意です。

○ 参考文献

著者・発表論文名・掲載誌・巻号・ページ・発表年

上記以外にも提案を理解する上で必要な関連文献がありましたら挙げて下さい。記載項目は上記の通りであり、書式は任意です。

5. 論文・著書リスト（主たる共同研究者）

著者・発表論文名・掲載誌・巻号・ページ・発表年

主たる共同研究者が、近年に学術誌等に発表した論文、著書等のうち今回の提案に関連すると思われる重要なものを選んで、主たる共同研究者ごとに A4 用紙 1 ページ程度で、現在から順に発表年次を過去に遡って記入して下さい。記載項目は上記の通りであり、書式は任意です。

6. 特許リスト（研究責任者・主たる共同研究者）

○ 主要特許

出願番号・発明者・発明の名称・出願人・出願日

〔 近年に出願した特許のうち今回の提案に関連すると思われる重要なものを選んで、A4 用紙 1 ページ程度で記入して下さい。 〕

・ 研究責任者

・ 主たる共同研究者

7. 他制度での助成等の有無

研究責任者及び主たる共同研究者が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的資金制度やその他の研究助成等制度での助成等について、制度名ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究費の額、エフォート等を記入して下さい。記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。

<ご注意>

- ・「不合理な重複及び過度の集中の排除」に関しては、P. 66 を参照して下さい。
- ・現在申請中・申請予定の研究助成等について、この研究提案の選考中にその採否等が判明するなど、本様式に記載の内容に変更が生じた際は、本様式を修正の上、巻末のお問い合わせ先まで電子メールで連絡して下さい。

(記入例)

研究責任者（応募者）：氏名 ○○ ○○

制度名 ¹⁾	研究課題名 (代表者氏名)	研究 期間	役割 ²⁾ (代表 / 分担)	(1)受給研究費 ³⁾ (期間全体) (2) " (H25 年度実績) (3) " (H26 年度予定) (4) " (H27 年度予定)	エフォート ⁴⁾ (%)
科学研究費補助金 基 盤研究 (S)	oooooooooooo	H23.4 － H28.3	代表	(1) ooooo千円 (2) ooooo千円 (3) ooooo千円 (4) ooooo千円	20
科学技術振興調整費	oooooooooooo (○○ ○○)	H24.4 － H28.3	分担	(1) ooooo千円 (2) ooooo 千円 (3) ooooo千円 (4) ooooo 千円	10
(申請中) ○○財団○○ 研究助成	oooooooooooo	H25.4 － H27.3	代表	(1) ooooo千円 (2) ooooo千円 (3) ooooo千円 (4) —	5
．．． ⁵⁾	．．．	．．．	．．．	．．．	．．．

- 1) 現在受けている、または採択が決定している助成等について、本人受給研究費（期間全体）が多い順に記載して下さい。その後に、申請中・申請予定の助成等を記載して下さい（「制度名」の欄に「(申請中)」などと明記して下さい）。
- 2) 「役割」は、代表または分担等を記載して下さい。
- 3) 「受給研究費」は、受給している金額（間接経費を含む）を記載して下さい。
- 4) 「エフォート」は、年間の全仕事時間（研究活動の時間のみならず教育・医療活動等を含む）を 100%とした場合、そのうち当該研究の実施に必要となる時間の配分率（%）を記載して下さい【総合科学技術会議における定義による】。本制度に採択されると想定した場合のエフォートを記載して下さい。申請中のものは採択された場合のエフォートを記載してください。
- 5) 必要に応じて行を増減して下さい。

(前ページより続く)

(記入例)

主たる共同研究者：氏名 ◇◇ ◇◇

制度名 ¹⁾	研究課題名 (代表者氏名)	研究 期間	役割 ²⁾ (代 表/ 分担)	(1)受給研究費 ³⁾ (期間全体) (2) 〃 (H25 年度実績) (3) 〃 (H26 年度予定) (4) 〃 (H27 年度予定)	エフォート ⁴⁾ (%)
厚生労働科学研究費 補助金	◇◇◇◇◇◇◇◇ ◇◇◇	H24.4 － H28.3	代表	(1) ○○○○千円 (2) ○○○○千円 (3) ○○○○千円 (4) ○○○○千円	20
．．． ⁵⁾	．．．	．．．	．．．	．．．	．．．

(記入例)

主たる共同研究者：氏名 □□ □□

制度名 ¹⁾	研究課題名 (代表者氏名)	研究 期間	役割 ²⁾ (代 表/ 分担)	(1)受給研究費 ³⁾ (期間全体) (2) 〃 (H25 年度実績) (3) 〃 (H26 年度予定) (4) 〃 (H27 年度予定)	エフォート ⁴⁾ (%)
科学研究費 補助金 特定領域	□□□□□□□□□□ (□□ □□)	H25.4 － H29.3	分担	(1) ○○○○千円 (2) ○○○○千円 (3) ○○○○千円 (4) ○○○○千円	15
．．． ⁵⁾	．．．	．．．	．．．	．．．	．．．

1) ～4) については前ページのカッコ内をご参照下さい。

5) 必要に応じて行を増減して下さい。

8. 応募者の略歴

研究責任者 氏名	
学歴 (大学卒業以降)	(記入例) 昭和〇〇年 〇〇大学〇〇学部卒業 昭和〇〇年 〇〇大学大学院〇〇研究科修士課程〇〇専攻修了 (指導教官：〇〇〇〇教授) 昭和〇〇年 〇〇大学大学院〇〇研究科博士課程〇〇専攻修了 (指導教官：〇〇〇〇教授) 【記入必須※】 平成〇〇年 博士(〇〇学)(〇〇大学)取得 ※ 利害関係にある評価者の排除のため、指導教官名、所属した研究室の室長名は必ず記載して下さい。
研究歴 (主な職歴と 研究内容)	(記入例) 昭和〇〇年～〇〇年 〇〇大学〇〇学部 助手 〇〇教授研究室で〇〇〇〇〇〇について研究 昭和〇〇年～〇〇年 〇〇研究所 研究員 〇〇博士研究室で〇〇〇〇に関する研究に従事 平成〇〇年～〇〇年 〇〇大学〇〇学部教授 〇〇〇〇について研究
照会先 (利害関係にも言 及すること)	応募者の研究について良くご存じの方を 3 名以上挙げて下さい(外国人でも可)。それぞれの方の氏名、所属、連絡先(電話/電子メールアドレス)を記入して下さい。選考(事前評価)の過程で、評価者(推進委員会委員等)が、提案内容に関して照会する場合があります。 応募者と利害関係がある場合には、利害関係の内容についても記入して下さい(利害関係の定義は「Ⅱ. 4. (3) 利害関係者の選考への不参加」を参照下さい)。 (記入例) 〇〇 〇〇：〇〇大学大学院工学研究科 TEL：XX-XXXX-XXXX、E-mail：XXXX@XX.ac.jp 利害関係：なし 〇〇 〇〇：〇〇研究所〇〇研究室 TEL：XX-XXXX-XXXX、E-mail：XXXX@XX.or.jp 利害関係：共同プロジェクト (NEDO) 実施中

9. 人権の保護および法令等の遵守への対応

研究計画を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述して下さい。

例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換えDNA実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究・実験などが対象となります。

なお、該当しない場合には、その旨記述して下さい。

10. その他特記事項

- ・ SIP に応募した理由、研究開発に際してのご希望、ご事情その他について、自由に記入して下さい。
- ・ 海外の研究機関を研究開発チームに加える場合は、海外の研究機関に所属する共同研究者が必要であることの理由を記入して下さい。
- ・ 研究開発実施場所が現在の所属機関と異なる場合は、その理由を記入して下さい。
- ・ 特筆すべき受賞歴等がある場合には、必要に応じてこちらに記入して下さい。
- ・ 研究開発実施期間中に研究開発代表者が定年を迎える場合、定年後の研究開発実施体制に関する考えや予定を記入して下さい。具体的な体制について、面接選考にて詳しい説明をお願いすることがあります。また、面接選考時に、所属（もしくは予定している）機関の長による学内での身分保障等を明記した承諾書の提出をお願いすることがあります。所属機関長とは学長、理事長等のことを指し、部門長、学科長、センター長等のいわゆる下部組織の長を指すものではありません。